



コロナ禍の中で..

収束に向かっていると大勢の人が思っていた新型コロナウイルス。第七波の爆発的な感染者数。異常気象により気温が35度以上の酷暑の毎日。気象庁から警戒アラートが発令され、外出を控えるようにとの発表もあり、城北公園での歩行訓練もままならなかった今年の夏でした。外出自粛の中で、気力、体力、意欲が低下しないように運動やレクリエーションを毎日取り入れてきました。特に足の体操は、「いつまでも自分の足で歩いて頂きたい！」とあれこれ工夫を凝らして力が入ります。楽しく身体を動かせるように馴染みある、東京音頭やソーラン節を皆で踊り、気持ちよく声を出して頂くために、唱歌から童謡、歌謡曲まで幅広く歌いました。時には名作小説の音読も行いました。

レクリエーションは午前中と午後行っています。午前中は体全体を使うボーリングやスペシャル輪投げなどのレクを行い、なるべく団体戦にして、チームプレーの楽しさや、勝ち負けの気持ちを共有できるようにしています。午後は入浴後ということもあり、座って行える、潮干狩りゲームや坊主めくりなどを行っています。また時には、今度の敬老会の花笠音頭で使う笠を、「うまくできないよ〜」「そんなことないよ、上出来、上出来！」とおしゃべりしながら、励まし合いながら作っています。デイサービスの入り口にある壁飾りも夏から秋へと衣替えしました。一日も早いコロナの収束を願っています。

介護スタッフ 中尾 弘子



万華鏡



月が変わって10日あまり過ぎると、後頭部あたりから何か追いかけてられているような不思議な気がする。なんだろう？目の前の牢格子のような四角い線が書かれている。原稿用紙だ。そこで、`万華鏡、の締切日がせまっていることを思い出す。

まずはお茶でも飲んでと思い椅子に腰掛けてテレビのスイッチをひねる。すると画面がパッと表れたのは甲子園の夏の高校野球だった。コロナ禍の影響で二年間出来なかったため三年ぶりの開催だという。原稿を書くのはちょっと止めて、まずは甲子園の少年野球を見ることにした。

小学校時代から運動神経が極端に悪かった私は、心臓が弱かったこともあり、いつも見学していたが、その分テレビで見るとはいつもスポーツが多かった。

野球やバレー、テニス等も好きだったし、お正月のテレビは殆ど`箱根駅伝、を見て過ごした。一月二日の往路も三日の復路も家に居る時はほとんどテレビの前に坐っていた。

大学生が大きな身体をぶつけあって真剣にボールをつなぐラクビーも男女の体操も数えあげたらきりが無い。自分が体育が出来ないだけに素直に感動してしまう。

自動車の運転は勿論、自転車にさえ乗れない私は電車に乗る時も一步一步、歩いて駅に行く。頭も身体も少しでも頑張る良い老後を送りたいと思う。(依)

ほっと・ハウス・豊玉 だより9月

みんなで一緒につくった夏模様！

七夕が終わり、本格的な夏を迎えました。そこで、みんなで一つ一つ作り上げた朝顔とひまわりで、壁絵にしました。コロナで中々、夏気分になりませんが、デイサービスセンターに来れば、気分だけでも夏模様となりました。

7月は、コロナ禍により、13日から24日まで休業せざる得なくなりました。その影響は8月も続き、ご利用者様、ご家族のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。

PCR検査や抗原検査の充実や昼食時の職員体制の見直しなど、コロナ対策を徹底するとともに、コロナ禍でも、利用者さまに喜んでいただけるような活動を展開してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

お問合せ先：ほっと・ハウス・豊玉デイサービスセンター
TEL：03-5946-4310



孫もり悲喜こもごも

七十代でおばあちゃんになる友達が続々。晩婚化が進み、四十代で産む娘さんも多くなっている。息子ときたら五十歳ということも。だから、一昔前の祖父母世代が、初々しい初ばあちゃん、じいちゃんになっている。

小さなおてて、柔らかなほほ、つぶらな瞳、孫はなんと素晴らしい。子どもたちもよく訪れてくれるようになって、いいことづくめ。と浮かれていると「ちょっとおつかいに」と孫ちゃん預けられて、半日。

おかあさんもときどきはひとりになりたいわよね、とご機嫌でお留守番したのはいいけれど、次の日どっど寝込む。腰痛、膝痛、肩痛。孫を抱いたり追いかけたり、孫もりは重労働。階段のぼりも辛いというタイプでは、危険と隣り合わせなのです。

かたや、七人の孫が親なしにつぎつぎに来て、毎日海へ連れていき、いっしょに泳ぐ愛媛の七十五歳もいる。ほんとうにばあちゃんの体力は、それぞれだ。

昨日も友達から「ヤバッと思いつつ抱いてしまい腰痛」と、微笑ましい??ラインがきた。

小川 陽子

認知症予防 氷川台3丁目カフェ — 麻雀からおしゃべりまで —

認知症予防に麻雀、花札などしています、介護家族の方も一息つきにどうぞ

- 日時：毎月第1・第3土曜日、午後1時半から4時のご都合のよいときにどうぞ
 - 場所：ほっと・氷川台デイサービスセンター（氷川台3-19-7井垣ビル）氷川台駅2番出口徒歩5分
 - 参加費：200円（会場費・お茶代） ※中止の場合があります。ご連絡ください。
- 連絡先：寺田和子 090-8772-9157（麻雀ご希望の方は2、3日前にご予約を！）

トピックス

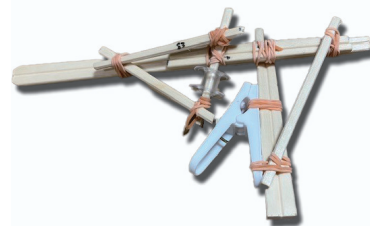
子どもの居場所づくり「氷川台のだるまちゃんち」通信 その5

ほっと・デイサービス氷川台をお借りしての子どもの居場所 だるまちゃんち。毎月第3日曜日午後開催しています。8月21日が6回目のはずでしたが、コロナの患者数過去最高と報道され、お休みにしました。だるまちゃんち遊びにきたい!とってくれたみなさん、ごめんなさい。だるまちゃんちはHP、Instagram、Twitterがありますが、今回休みますとお知らせしませんでした。

HP→ <http://www.darumachanchi.com/>
Instagram→ https://instagram.com/darumachan_chi?igshid=YmMyMTA2M2Y=
Twitter→ <https://mobile.twitter.com/darumachanchi>
これからは、次回の開催日をHP・Twitter・Instagramでお知らせします。

9月は9月18日、コロナに気をつけながら秋祭りをします。景品もあります。遊びに来てちょ!

※写真は秋祭りむけの手作り「射的」です。



この情報はASA平和台のご協力を頂いています。

ほっと・すぺーす だより

vol.193



定員24名
ほっと・ハウス・豊玉
デイサービスセンター
住宅型有料老人ホーム
☎ 5946-4310

定員20名
ほっと・ハウス・仲町
都市型ケアハウス
60歳以上の自立者入居施設
☎ 3932-1123

ほっと・氷川台
ケアプランサービス
居宅支援事業所(ケアマネ4名)
☎ 5921-3190



定員14名
ほっと・氷川台
デイサービスセンター
☎ 5922-6577

定員20名
ほっと・ハウス・今神
都市型ケアハウス
60歳以上の自立者入居施設
☎ 6906-7670

ほっと・ライフサービス
福祉用具レンタル・販売・住居改修
☎ 6906-9171

福祉用具レンタル品も機能向上・デザインもカラフルに!

最近出てきた新しい福祉用具レンタル品(介護用品)が、機能向上はもちろんの事、デザインもカラフルな色合いの商品が登場しております。

いままでは、ダークトーンの色合いが多かったのですが、新商品はカラフルな色合い(ワインレッド・メタルブルー、合皮バッグなど)の商品が増えてきました!!

女性の方にも男性の方にも、お散歩やお買い物でも“おしゃれにご利用して頂けること間違いなし”、上手に福祉用具を使いながら楽しい時間を過ごして頂けると思います。

お試しいただくことも可能です。是非、お気軽にお問合せ下さい。



福祉用具
なんでも相談

お問い合わせ
03-6906-9171